英語リーディングB Reading B

新

素養科目　1、2 年／後期　1 単位　選択科目

科目責任者　**稲田　俊一郎（英語・言語学研究室）**
授業担当者　**A 組 1 班：瀬戸川　順子、　A 組 2 班：須田　篤也、　A 組 3 班：池山　和子**
B 組 1 班：田沢　恭子、　B 組 2 班：松井　直樹、　B 組 3 班：須田　篤也
C 組 1 班：岡部　了也、　C 組 2 班：瀬戸川　順子、　C 組 3 班：中野　里美

▌教育目的（各クラス共通）

エッセイ、フィクション、時事問題、科学読み物、医療記事などの英文を読み、精読、速読、パラグラフリーディングなどを含む総合的な読解力をつけることを目的とする。

▌学習到達目標（各クラス共通）

1. 様々な読み方の訓練を行い、状況に応じて使い分けられるようにする。
2. 科学読み物、フィクションや時事問題に関するもの等を題材とし、様々な領域の英文を読みこなせるようになることを目指す。

▌授業内容

A 組 1 班・C 組 2 班　瀬戸川　順子

今後、より専門的な文献の読解を要求されることを想定して、基本的理解力の充実を図る。 下記テキストにより、幅広く科学関連の文章を読み、実際に使用される英語の表現の多様性や文化的背景に親しむ。文法事項を確認しながら精読するが、慣れたら次第に速度を上げたい。自分で調べる手間を惜しまないで、英和辞書を用意しておくこと。また、随時プリントを使用して速読を試みる。

準備学習（予習・復習）：予習：各章のテーマに関して調べておく。／復習：論理の展開、新出単語やそれに関連した表現等を再確認する。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：練習問題・単語テスト等で理解度を確認し、フィードバックを実施、期末試験（90%）、小テスト（10%）で総合評価する。

教科書：*A Healthy Mind, a Healthy Body*　石川　英司他　(朝日出版社)

A 組 2 班・B 組 3 班　須田　篤也

英語読解における「速く読む」「正確に読む」「表現力を養う」といった能力の向上を目指 す。教材は、毎授業、その授業で使用するものをプリントで用意する。内容は、専門分野に関わる英語を学習するためのものである。

副教材（教科書として記載されているもの）として、英文の構文集を使用する。どのような英文にしろ、英語を読むためには、どうしても基本的な文法や構文の知識が必要である。そこで、そうした文法や構文の学習のために、数多くの構文を暗記し、その理解を深める。 なお、構文集は、家庭学習のための副教材という扱いで、授業ではその成果の確認に留めるつもりである。

準備学習（予習・復習）：予習：小テストの準備／復習：授業内容の再確認

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（80 %）、小テスト（20 %）で総合評価する。

教科書：『大学生のための英語構文・文法 完全理解ハイギア』　佐藤　誠司　著　（南雲堂）

A 組 3 班　池山　和子

科学への興味をかき立てる比較的短めのエッセイを味わいながら、速読と精読両方の読解力の向上、聴解力の増強、語彙拡充を目指す。

準備学習（予習・復習）：予習：本文を読み、読解力の目安となる Step 3 及び Step 4 を必ず解答して授業に臨む。復習：モデル音読を聴きながら本文の内容を反芻する。意味を考えながら音読を繰り返して、小テストに備える。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（50 %）、予習の読解得点及び小テスト（40 %）積極的な授業参加（10 %）。講義内容や試験準備に関する質問等を受け付け、個別に解説・説明をし、必要に応じて、全体に周知します。

教科書：『Science in Our Daily Life』　小林敏彦 / Bill Benfield 著　（成美堂）

B 組 1 班　田沢　恭子

新聞・雑誌などの英文記事を素材として、研究や仕事をしていくうえで役立つ実用レベルの英文読解力の習得をめざします。受講者は指定された範囲の英文を授業前にまず自力で読解してください。授業では、各受講者が自分なりの解釈や疑問点を明確にした状態であるという前提で、質疑応答と解説を行います。授業 2〜3 回ごとに 1 回のペースで、授業で扱った記事に関連した課題を課します。

準備学習（予習・復習）：予習：英文記事の指定された範囲を極力丁寧に読解してください。／復習：授業中の解説を踏まえて英文を読み直してください。課題が出されたときは、指示に従って取り組んでください。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題を採点・添削して返却し、解説するという方法でフィードバックを行います。成績は、課題の成績（100%）で評価します。

教科書：教科書は使用せず、プリントを配布します。

B 組 2 班　松井　直樹

この授業の目的は、“海外のメディアを通して伝えられる日本の姿”というテーマを主眼に置いて編纂されたテキストを使用し、やや読み応えのある英文を丁寧に読み進めることによって、学生の皆さんの英文の読解力、理解力の向上を目指すことにあります。加えて、英文を読む上で欠かすことのできない豊富な語彙の習得、これまで学習してきた文法事項の再整理、再点検も併せて行うこととします。

授業は、少人数のグループに分けられ、ワークショップの形式で進められます。見解の統一化を行う前に各グループで見解の統一をすることが求められます。円滑にグループ運営ができるように、授業に臨む前の各個人の準備学習が非常に重要なものとなります。また、ユニットが終了するごとに小テストを行います。

準備学習（予習・復習）：事前学習：テキストの当該箇所の予習／事後学習：語彙・文法事項の確認；英字新聞・雑誌を読んでみる

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：授業や定期試験などに関する質問がある場合、個別に受け付け、解説、説明を行います。期末試験（70%）、小テスト（30 %）の合計で成績を評価します。

教科書：*The World Watches Japan* 竹村日出夫、松本利秋、永田喜文（南雲堂）

C 組 1 班　岡部　了也

本授業では、様々な内容に関する英文新聞記事を読むことにより、英語で書かれた文章を正確に読み取る訓練を行う。テキストは、政治、環境、テクノロジー、スポーツといった幅広いテーマに関するニュース記事とそれに関連した練習問題から構成される。授業中は、文章の読解および練習問題を通して、様々な分野に関する語彙、イディオム等の表現および文法知識の拡充を図る。この授業では、テキストの後半の Chapter 8 から Chapter 14 までを取り上げる予定である。

準備学習（予習・復習）：予習：文章中の知らない単語や成句等の表現を調べ、ある程度文章の内容を理解しておく。また、練習問題に関しては、答えを考えておく。復習：授業中に確認した単語・表現や文法事項、練習問題の解答等を再度確認し、文章の内容に関し理解を深めておく。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験の成績（100 %）で評価する

教科書：*English for Mass Communication – 2017 Edition –* 堀江洋文 他 著（朝日出版社）

C 組 3 班　中野　里美

国内外のニュース記事を読み、語彙、文法、構文、表現に注意して精読し、高度な内容の英文に慣れることを主眼とします。なおかつ、大学生として知っておくべき世の中の情勢にも目を向け、情報を得て、興味の範囲を広げていきましょう。進度として、テキストは前期で半分程度を予定していますが、もし予定箇所を早めに終われば、実践として英字新聞の記事を配布します。

準備学習（予習・復習）：予習：事前に注を参考に読み進めておき、分からない個所がないか調べておきましょう。分からない個所は授業で疑問解消していきましょう。（１章ごとに約３０分前後）復習：資格試験などを今後、受験する際には問題として使用される語彙や内容も出てきます。それを意識して自分が活用することを想定して内容を見直したり、さらに調べたり、覚えたりしていきましょう。（１章ごとに約１５分前後）

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題（レポート、試験等）のフィードバックについて：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。成績評価方法：期末試験の成績（１００%）で評価します。

教科書：『15 selected units of English through the News Media― 2018 edition』高橋 優身　他著（朝日出版社）